

# 「もっこすプラン2009」のポイント

## 1 「研究力の向上」への取組

### [具体的取組例]

#### <大学院の充実>

- ・ 大学院教育の充実を図るため、文部科学省に文学研究科英語英米文学専攻博士課程設置届出を行う。
- ・ 教務委員会の専門委員会として位置づけられていた大学院専門委員会について、平成21年度から各研究科長を構成員とする大学院委員会に改組し、全学的な視点から大学院教育の管理運営を行う。

#### <研究力の強化—地域貢献活動との連携による独自性の創出—>

- ・ 地域連携センターの機能や組織などの将来のあり方について検討する。また、現在学長が兼務している地域連携センター長については、教員の中から選任する。

#### <研究支援の充実>

- ・ 科学研究費補助金等の外部研究資金について、これまでの実績を点検・評価し、目標達成に向け組織を設けて実効性のある対応策に取り組む。
- ・ 教員を対象とした現行の表彰や昇給制度については、本質的には教員個人評価の趣旨に適合するとみなされることから、その充実に努める。

## 2 「国際化の推進」への取組

### [具体的取組例]

#### <「熊本で世界と向き合う」取組の推進>

- ・ 協定校との交流活動の推進のため、祥明大（大韓民国）との学術フォーラムを本学において開催する。
- ・ 近年の県内における外国人住民の増加傾向に鑑み、国際交流関係団体や地域住民と連携し、多文化共生の地域づくりに貢献する。

#### <学生交流の多様性を高める創意工夫—九州をはじめ西日本、全国から若人が集まる大学への進化—>

##### (学生支援組織の充実)

- ・ 就職センターをキャリアセンターに改組し、センター長及びキャリアコーディネーターを置き、学生に対するキャリアデザイン教育と就職支援等のキャリアサポートの推進を図る。
- ・ 保健室を保健センターに改組し、学生の身体的・精神的健康管理について、学内及び関係機関との連携などの機能充実を図る。

##### (県外での知名度向上に向けた広報活動の展開)

- ・ 「大学案内」に、首都圏、九州・山口の受験生及び外国からの留学生を意識したページを新たに設ける。
- ・ 県外での知名度向上を目指し、熊本県立大学同窓会・紫苑会、熊本県人会との

連携等を検討し、効果的な広報展開を図る。

- ・ 宮崎県において、大学広報を兼ねた熊本県立大学みやざき講演会を開催する。また、福岡県をはじめその他九州各県での実施の可能性を検討する。

### 3 「大学アドミニストレーションの確立」への取組

#### [具体的取組例]

#### <大学運営における「自立」と「自律」の推進>

- ・ 教育、研究、地域貢献、組織及び運営に関して、認証評価機関である財団法人大学基準協会の点検・評価項目に基づき点検・評価を実施し、自己点検・評価報告書を取りまとめる。また、平成22年度に受審する認証評価の申請を行う。
- ・ 多様な収入源確保策の一つとして寄附金を募集し、奨学金等の原資とするための基金の造成を図る。
- ・ 平成21年度から導入する「学び足し・学び直し」教育に係る受講料を含め、既存の収入源の着実な確保に努める。
- ・ 過去3か年の財務状況、使用電力量等の統計データや経済状況の変化等を参照しながら、学生納付金の適切な料金設定について、ガイドラインの素案を作成する。
- ・ 平成22年度からの法人独自の事務職員の採用に向け、関連規程の整備を行い、選考を実施する。

#### <環境に配慮したキャンパスづくり>

- ・ キャンパスづくりについては、建物保全計画及び設備更新計画に基づき、平成21年度は、学内施設の耐震化に向けた取組を行うとともに、空調関連機器の更新、建物の維持補修及び教育機器の更新を行う。
- ・ セグメント単位で計測している電気使用量のデータを活用し、CO<sub>2</sub>削減に向けた取組を行う。
- ・ 冷暖房使用期間を省エネの重点取組期間とし、エネルギーコスト縮減へ向けて、集中して全学的な取組を行う。